

月刊アンモナイト通信

Monthly Ammonite Center Letters

Vol. 2, no. 12

いわき市アンモナイトセンター 令和2年度冬休み企画展

草野心平と岩石

～詩人と地質

詩人が石ころ!?
どこからもらってきたの!?



ミニ発掘コーナー ジオードを発掘しよう!

天然の石(外周)を割って
本物のジオード(水晶)を取り出そう
【実施日】会期中の休館日を実施しない日
【時間】9:30～11:30/14:00～16:00
【観料費】ひとり1回700円

【会期】12月17日(木)～1月11日(月)

いわき市アンモナイトセンター

【開催時間】9時～17時(入館は16時30分まで)

【休館日】毎週月曜日・1月1日(水)

【入館料】一般200(200)円/高校生・高専・大学生100(160)円/小・中学生100(20)円(カッパ内は20名以上の団体料金)

※1 通常の入館料で企画展も観覧できます。

※2 いわき市内の小・中学生/高校生・高専生は土日無料です。

【交通アクセス】常磐自動車道いわき西SA I.C. から約15分/広野 I.C. から約20分、
JR常磐線又ノ舘駅からタクシーで約15分

【問い合わせ】いわき市アンモナイトセンター

TEL. 0246-82-4561, URL <http://www.ammonite-center.jp>



冬休み企画展「草野心平と岩石～詩人と地質」開催にあたって

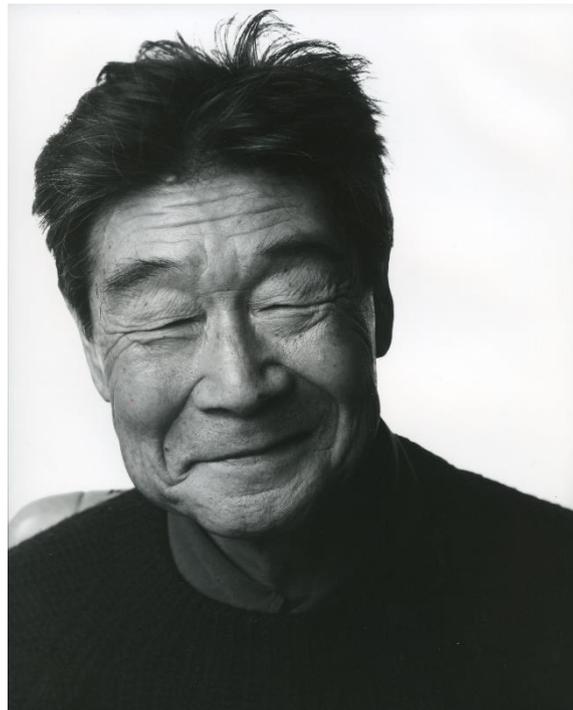
このたびは令和2年度いわき市アンモナイトセンター冬休み企画展「草野心平と岩石～詩人と地質」にお越しいただきまして誠にありがとうございました。

草野心平は明治36年（1903年）に現在のいわき市小川町に生まれました。「蛙の詩人」と言われるほどに、生涯にわたって蛙をテーマとした詩を書き続けました。中でも私が好きなのは「春のうた」という詩です。春になった喜びをうたっており、蛙の歓声を「ケルルンクック。」と愉快地表現しています。そして心平は、昭和59年（1984年）いわき市名誉市民に、昭和62年には文化勲章を受章しています。

また、草野心平は、岩石の収集家でもありました。心平自らが収集したもの、幅広い交友の中から知人にいただいたものなど貴重な岩石を数多く集めております。今回の企画展では心平が所有していた岩石標本を展示するだけでなく、岩石の来歴や地質学的な背景を解説いたします。どうか、この企画展を通して地質学の魅力を知っていただければ幸いです。

結びに、岩石標本を貸与いただきましたいわき市草野心平記念文学館はじめ、企画展の開催にあたりご協力いただきました皆様方に心から感謝申し上げあいさついたします。

いわき市アンモナイトセンター所長 遠藤 喜一



草野心平（撮影：小林正昭，1977年）

草野心平（くさのしんぺい）は、1903（明治36）年5月12日、福島県石城郡上小川村（現在のいわき市小川町）に父馨、母トメヨの二男（長女綾子、長男民平、心平、三男天平、二女京子）として生まれ、祖父母のもとで育ちました。幼い頃から腕白でひどく癩が強い子どもだったようです。本を食いちぎり、鉛筆をかじり、誰かれとなく噛みついていた幼少期を、心平は、故郷の阿武隈山系に見られる大花崗岩のように「ガギガギザラザラ」だったと描写しています。

1919（大正8）年、県立磐城中学校を中退、上京した心平は、翌年、慶応義塾普通部に編入。そして1921年、中国、広東省広州の嶺南大学（現・中山大学）に留学しました。この時、16歳で夭折した長兄民平の遺品である3冊のノートを持参。そこに書かれていた詩や短歌に触発され、心平は詩を書き始めます。あまりに盛んな詩作に、同級生から「機関銃（マシンガン）」と呼ばれました。留学時代、心平は青春を謳歌するとともに詩人としての第一歩を踏み出したのです。

1923年夏、帰省した心平は亡兄との共著詩集『廃園の喇叭』を、母校の小川小学校から謄写版を借りて印刷します。1925年には、同人誌「銅鑼」を創刊。宮沢賢治、黄瀛らが同人でした。

同年、卒業を待たずに帰国してからの心平は貧困の中、新聞記者、屋台の焼鳥屋、出版社の校正係等で生活の糧を得ながら30回以上の引っ越しを繰り返しました。1928（昭和3）年、結婚後間もなく移り住んだ前橋では、明日の食べ物にあてもないという貧窮ぶりでしたが、同年、初の活版印刷による詩集『第百階級』が世に出ました。

心平は「蛙」をはじめ「富士山」「天」「石」等を主題にして詩を書きましたが、その根底には「すべてのものと共に生きる」という独特の共生感がありました。さらに書、画等、多彩な創作活動を展開しています。自身の歩みを「ジグザグロード」と表現したように、創作活動の一方で様々な職業に就きました。戦後、故郷の小川郷駅前に開いた貸本屋「天山」、居酒屋「火の車」とその後のバア「学校」等、その逸話には事欠きません。

1935年、創刊に参加した同人詩誌「歷程」は587号（2013年12月現在）を超えて現在も続いており、高村光太郎、中原中也らをはじめ、そこに心平の広範な交友関係を垣間見ることがもできます。それらが渾然一体となって心平の魅力を生み出していると言えるでしょう。

1988年11月12日、1,400篇余の詩を残し、心平は生涯を終えました。

- 1960年 川内村名誉村民に選ばれる
- 1975年 日本芸術院会員に推輓される
- 1983年 文化功労者に選ばれる
- 1984年 いわき市名誉市民に選ばれる
- 1987年 文化勲章受章

草野心平記念文学館 HP より

草野心平と岩石

草野心平は、交流のあった人々から岩石を贈られていました。いわき市立草野心平記念文学館には、草野心平が生前に集めていた岩石が収蔵されています。

今回、企画展にて紹介する標本は、冒険家植村直己やいわき市等より贈られたもので、日本国内のみならず世界各地の岩石や鉱物、化石が集められています。

それではこれから、草野心平の手元に集まっていた石を見ていきましょう。

いわきの岩石

茨城県北部から、いわき市を含む浜通り南部までの常磐地域は、西に阿武隈山地が控え、東は太平洋を望む地域です。常磐地域には阿武隈山地を構成する火成岩・変成岩と丘陵や平野部を形成している堆積岩が分布しています(図1)。草野心平の収集品には、主に阿武隈山地の花崗岩類や四倉地域の八茎鉱山で採集された鉱物などがあります。

阿武隈山地の花崗岩類は前期白亜紀の後半、今から約1億2500万年前から1億年前頃に出た岩石です。海洋プレートの沈み込みによって発生したマグマが地下深くで固まることで造られました。同じ時期に造られた花崗岩類は日本列島の西から東まで広く帯状に分布しています。

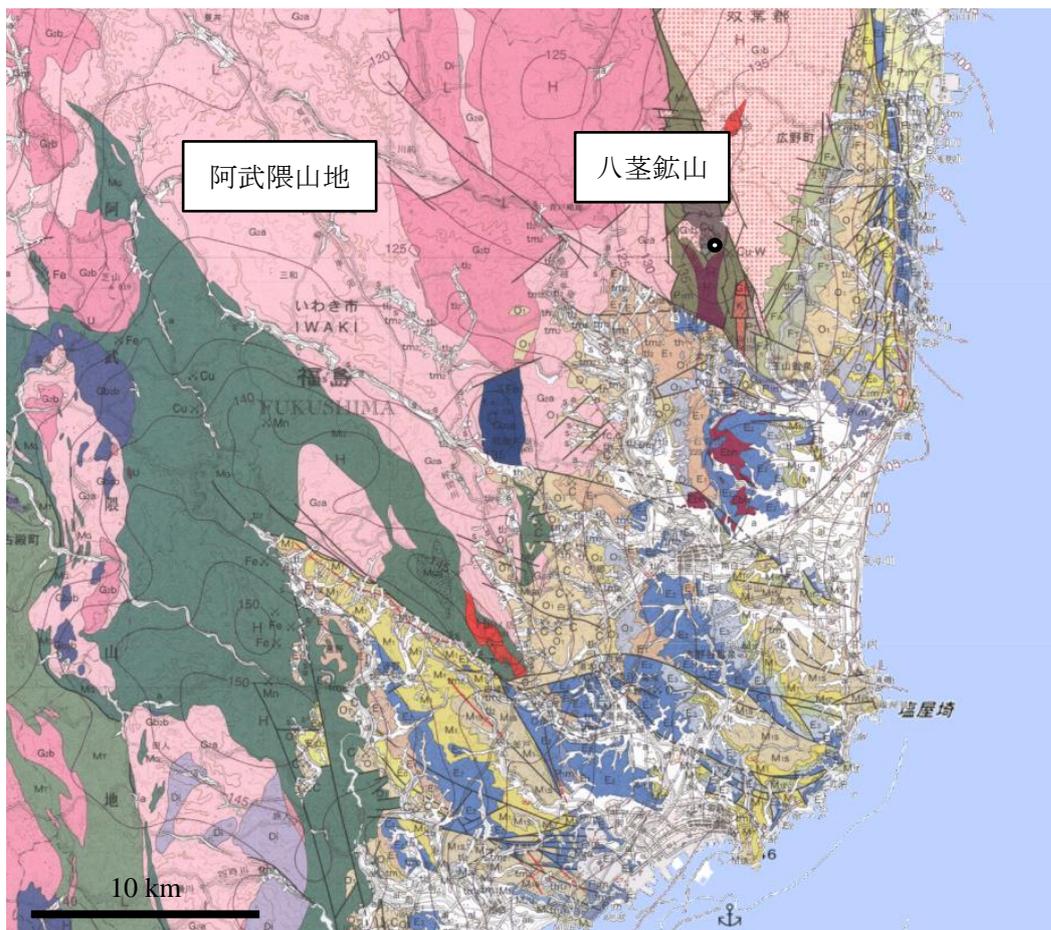


図1. いわき市周辺の地質概略図(久保ほか, 2007より改変・引用). ピンク系統で色付けしてある部分が阿武隈山地の花崗岩類. 花崗岩類より東側には堆積岩が分布している.

阿武隈山地の花崗岩類には、ペグマタイトと呼ばれる結晶が大きく成長した部分が認められ、ここから様々な鉱物が産出します。また、花崗岩中には球状の塊が成長することがあり、一番内側は黒雲母が多く、外側に向けて長石や石英が増える層状の構造をしています (図 2)。



図 2. 阿武隈山地の球状花崗岩 (スケールは 1 cm)

阿武隈山地西南部に位置する石川町は花崗岩類が分布しており、鉱物の町として有名です。第二次大戦中はウラン鉱物の採掘も行っていました。

いわき市四倉町にある八茎鉱山は詳しい形成年代は分かっているものの、阿武隈山地の花崗岩類よりも古い時代の岩石です (図 3)。石灰岩に花崗岩などが貫入して形成されるスカルン鉱床と言われるタイプの鉱床で、室町時代の明徳 2 年(1391 年)に発見され、近代に入ってから本格的に開発された銅鉱床です。



図 3. 八茎鉱山の遺構 (いわき市四倉町玉山)



図 4. ヘイロフスキー鉱 (緑矢印部)

八茎鉱山からはヘイロフスキー鉱という、日本ではいわきと山梨県からしか見つかっていない大変珍しい鉱物が産出します (図 4)。



図 5. 蛙形の小玉石

小川の「小玉石」

いわき市小川町を流れる小玉川の流域では小玉石と呼ばれる岩石が採れます (図 5)。小玉石は岩石学的には蛇紋岩という岩石で、上部マントルを構成する橄欖岩が水と反応して生成されます。小川町にも蛇紋岩と橄欖岩が接して分布しています。

世界の屋根「ヒマラヤ」

インド亜大陸の北部は「世界の屋根」とも呼ばれるヒマラヤ山脈を形成しています。元々インド亜大陸は、オーストラリアや南極大陸、アフリカ、南アメリカなどと共にゴンドワナ大陸という超大陸を形作ってましたが、白亜紀にゴンドワナ大陸から分離・北上してユーラシア大陸と衝突しています (図 6)。

ヒマラヤ山脈は、インド亜大陸とユーラシア大陸の間にあったテチス海という海にたまった堆積物が衝突により持ち上げられて出来た山脈です (図 7)。

テチス海は古生代末から新生代中頃まで存在していた海洋で、ギリシア神話の海の女神に因んで名付けられています。

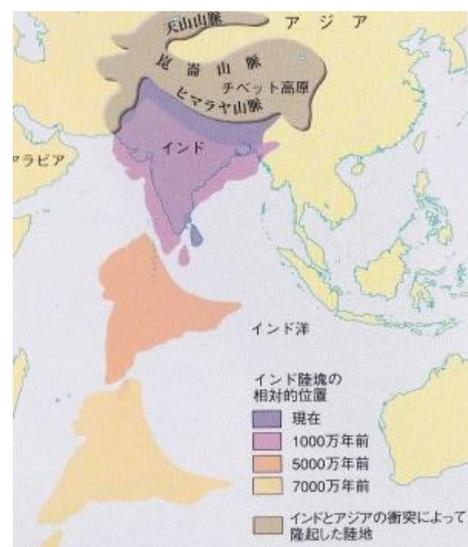


図 6. インド亜大陸の北上 (イアン・ジェンキンス, 2004 より引用)



ヒマラヤ山脈には衝突により激しく褶曲したテチス海の浅海成堆積物の地層が分布し、化石も数多く見つかっています。エベレスト自体はテチス海の堆積物の変成を受けた岩石です (図 8)。

図 7. エベレスト (Photo by Pavel Novak)

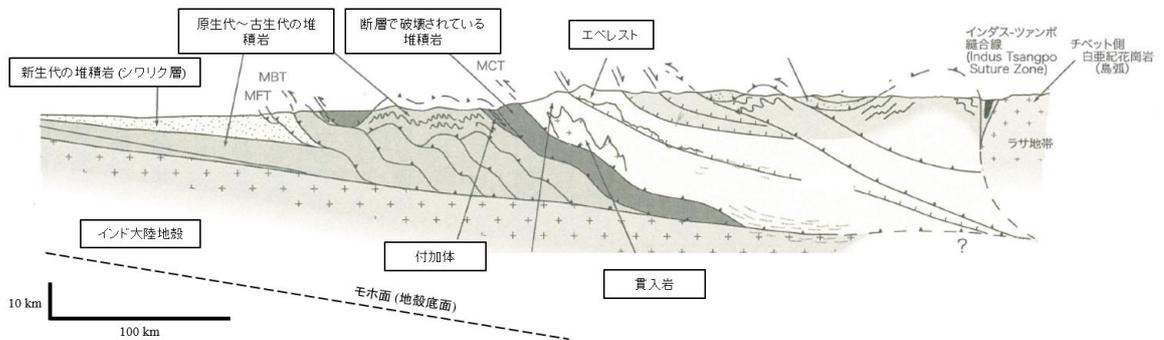
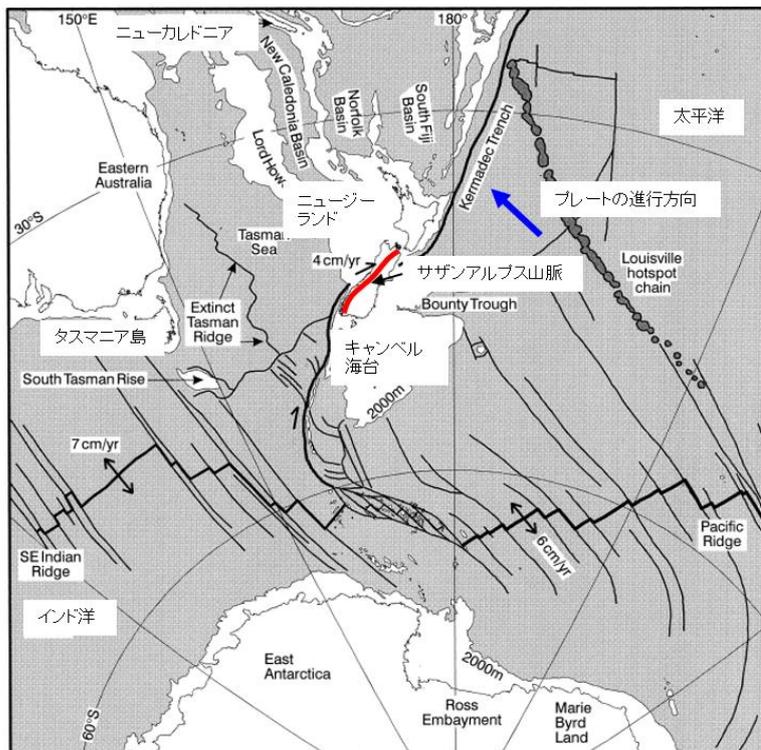


図 8. ヒマラヤ造山帯の模式断面図 (平, 2004 より改変・引用)



南半球の日本列島??

南半球に位置するニュージーランドは、日本列島と同様のプレート境界に位置する島々で構成されています。インド・オーストラリアプレートの下に太平洋プレートが沈み込んでるため (図 9)、日本やヒマラヤ山脈のような山脈が形成されています。

ニュージーランド南島を縦断するサザンアルプス山脈もそのようなプレートの衝突によって造られた山脈で、石炭紀～ジュラ紀にかけての岩石で構成されています (図 10)。

図 9. オーストラリアとニュージーランドのプレート境界 (Sutherland, 1999 より改変・引用)

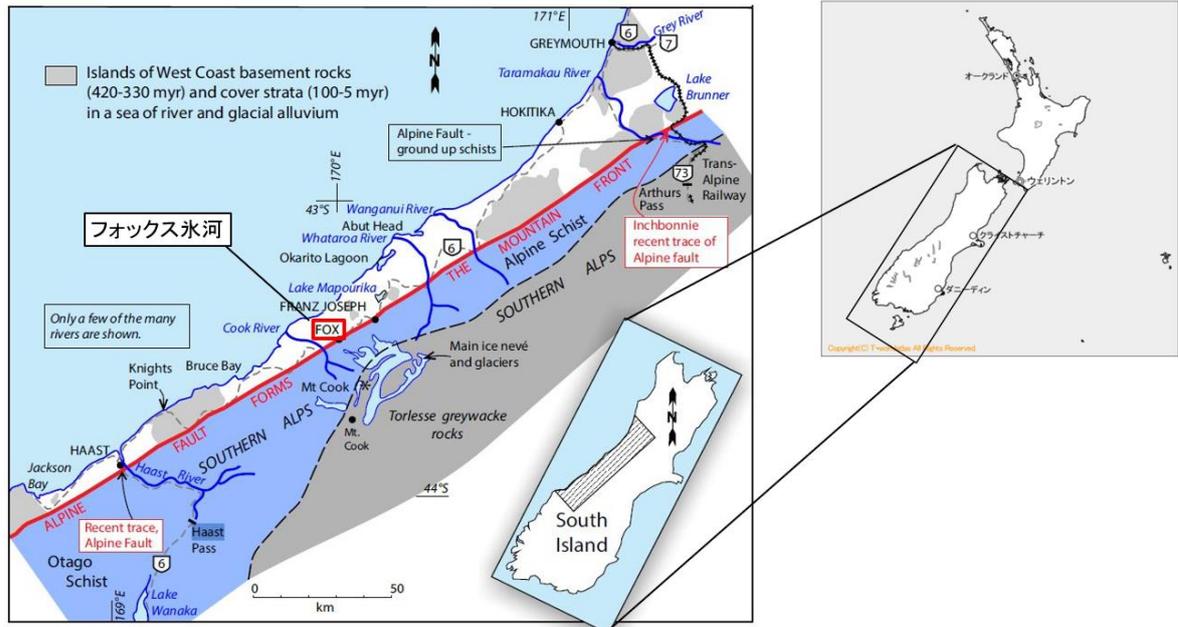


図 10. フォックス氷河周辺の地質概略 (Ballance, 2009 より改変・引用)

終わりに

本企画展では草野心平が集めた岩石を元に、日本や世界の地質を紹介しました (図 14)。これを機会に、普段は地質にあまり興味がない方にも我々人類が生活している地面をつくっている岩石そのものに興味を持っていただければ幸いです。

草野心平記念文学館では今回展示していない標本も収蔵・展示しております。草野心平自身や心平と岩石の関係に興味のある方は是非一度足を運んでみてください。

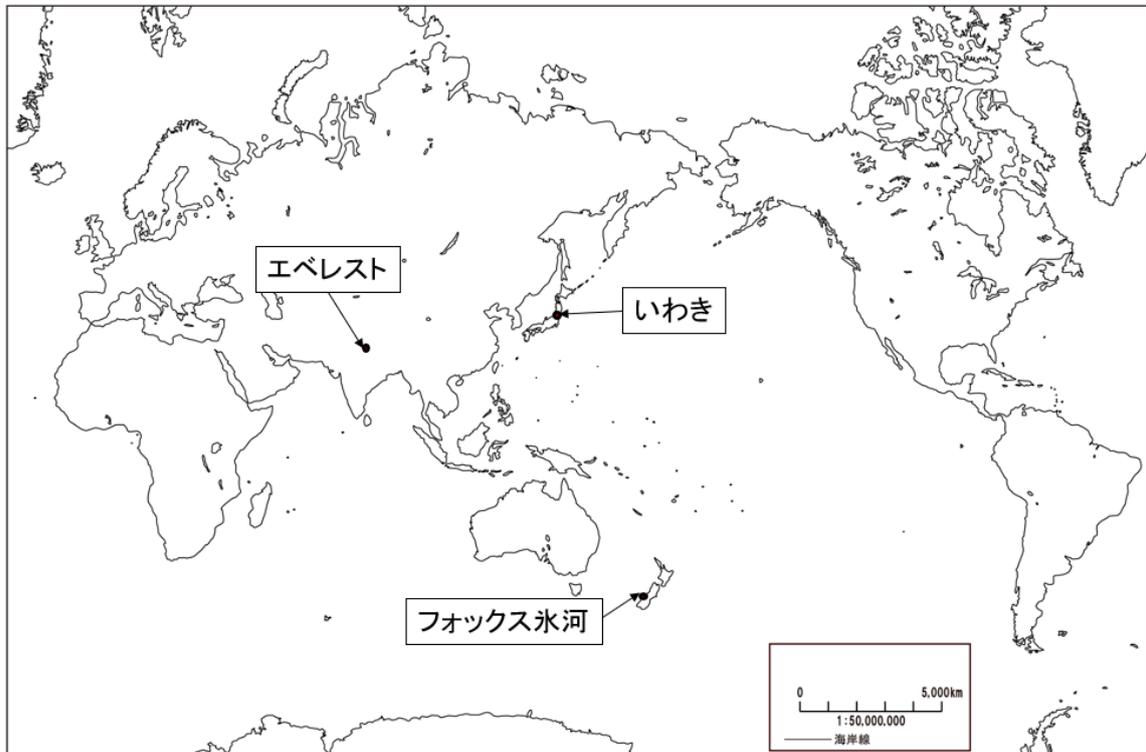


図 14. 展示した岩石のおおよその採集地点.

謝辞

本企画展を開催するにあたり、いわき市草野心平記念文学館には展示標本を貸与して頂いたほか、様々な便宜を図っていただきました。ここに記して感謝いたします。

(参考文献)

Balance, P., 2009. New Zealand geology: an illustrated guide. 397p., Geological Society of New Zealand, Miscellaneous Publication No. 148.

Jenkins, I., 2004. 生命と地球の進化アトラス3. (翻訳)小島郁夫. 144p., 朝倉書店, 東京.
久保和也・柳沢幸夫・山元孝広・中江 訓・高橋 浩・利光誠一・坂野靖行・宮地良典・高橋雅紀・大野哲二・駒澤正夫, 2007. 20 万分の 1 地質図幅「白河」.

Sutherland, R., 1999. Basement geology and tectonic development of the greater New Zealand region: an interpretation from regional magnetic data. Tectonophysics, 308: 341-362.

平朝彦, 2004. 地層の解説. 441p., 岩波書店, 東京.

11 月の行事報告

- ・ 体験発掘
開催回数：20 回
- ・ 特別体験発掘
開催回数：4 回

- ・ 第 5 回親子自然探訪教室「陶芸に挑戦しよう！」

11 月 3 日は第 5 回親子自然探訪教室を開催しました。アンモナイトセンターの近くで作陶をされている新谷窯の新谷先生ご指導の下、陶芸作品の制作に挑戦しました。



写真 1. 参加者の制作した作品.

・第6回親子自然探訪教室「コハクを発掘しにいこう！」

11月23日に第6回親子自然探訪教室を開催しました。いわき自然史研究会の星野会長に講師をしてもらい、実際に野外でコハクを発掘しました。



写真2. 露頭でコハクを発掘する参加者.

12月の行事予定

- ・体験発掘 (毎週土曜日・日曜日：10時～11時30分, 13時30分～15時
但し、雨天中止) 一回の参加人数は**最大200人**です。
体験発掘参加時は軍手及び化石を入れる袋をご持参ください。

お知らせ (重要！)

Notice!!

Notice!!

体験発掘に参加される際は運動靴または長靴の着用をお願い致します。サンダル(クロックス含む)や踵の高い靴での体験発掘場への入場は安全確保のため、お断りしております。
皆さまのご理解とご協力をお願い致します。

ボランティア募集

アンモナイトセンターでは、センターの活動を支援して下さるボランティアの方を募集しています。詳しくは、お電話・E-Mail、または職員にお声がけください。



いわき市アンモナイトセンター (Iwaki City Ammonite Center)

〒979-0338 福島県いわき市大久町大久字鶴房 147-2

TEL : 0246-82-4561 FAX : 0246-82-4468

URL : <http://www.ammonite-center.jp>

E-mail : info@ammonite-center.jp